

# 上三川町まち・ひと・ しごと創生総合戦略

平成30年度実施状況報告書

令和元年8月

上三川町

# まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成30年度実施状況について

## 1 はじめに

まち・ひと・しごと創生については、国と地方が一体となり、中長期的視点に立って取り組む必要があり、本町においても国の長期ビジョン及び総合戦略並びに県の人口ビジョン及び総合戦略を勘案しつつ、本町における人口の現状と将来展望を提示する「上三川町人口ビジョン」と「上三川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

「上三川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は人口減少克服・地方創生を目的とし、人と仕事の好循環によるまちづくりを目指し、4つの基本目標と9つの基本的方向のもとに、28の戦略的な施策(作戦)を定めました。

## 2 進捗状況の検証・評価方法について

上三川町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況を検証するために、各担当課において、すべての取組の内容について評価を行い、行政改革等策定懇談会において評価・確認をしました。令和元年度に目標を達成するため、平成30年度の実績がどのように進捗しているかを、下記の5段階で評価したものです。

5段階評価 (単年度評価)	A	目標以上に進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>実績値から計画期間より早く目標値達成が見込める</li> <li>事業内容が目標達成に非常に効果が認められる</li> </ul>
	B	目標達成に向けて順調に進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>実績値から計画期間内の目標値達成が見込める</li> <li>事業内容が目標達成に効果が認められる</li> </ul>
	C	やや遅れているが概ね順調に進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>実績値から計画期間内の目標値達成に向けて対策が必要と判断される</li> <li>目標達成のために、事業内容に工夫が必要</li> </ul>
	D	遅れが生じており、このままでは目標達成が難しい	<ul style="list-style-type: none"> <li>実績値から計画期間内の目標値達成が難しいと判断される</li> <li>目標達成のために、事業内容の見直し・改善が必要</li> </ul>
	E	未着手	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業に未着手である</li> </ul>

## 3 平成30年度の実施状況について

### 達成度別の作戦数

平成30年度実績は、28作戦中3作戦で「目標以上に進んでいる」、11作戦で「順調に進んでいる」、9作戦で「概ね順調に進んでいる」、5作戦で「遅れが生じており、このままでは目標達成が難しい」と評価されました。今後、懇談会等で受けた意見・提言をもとに、令和元年度の全作戦目標達成に向けて事業を推進してまいります。

5段階評価別	作戦数	全体に占める割合(28作戦中)
A 目標以上に進んでいる	3	10.7%
B 目標達成に向けて順調に進んでいる	11	39.3%
C やや遅れているが概ね順調に進んでいる	9	32.1%
D 遅れが生じており、このままでは目標達成が難しい	5	17.9%
E 未着手	0	0.0%

# 上三川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成30(2018)年度重要業績評価指標(KPI)進捗状況一覧

## ●進捗状況評価について

KPIの状況や取組成果等について現状を評価し、目標達成の見込をA～Eの5段階で評価しています。

A：目標以上に進んでいる
B：目標達成に向けて順調に進んでいる
C：やや遅れているが、概ね順調に進んでいる
D：遅れが生じており、このままでは目標達成は難しい
E：未着手

## ■基本目標1 若い世代の就労や雇用の創出

成果目標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	実績値 (H30)	評価
<b>製造品出荷額等</b> 基準値：(H24栃木県工業統計調査)	505,327 百万円	550,000 百万円	567,863 (H29)百万円	A
<b>事業所従業者数</b> 基準値：(H24 経済センサス)	16,174 人	19,400 人	17,057 (H28)人	D

### ●具体的な作戦毎の重要業績評価指標(KPI)進捗状況

基本目標 基本的方向	No.	作戦	KPI	基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値 (H30)	評価
基本目標1 若い世代の就労や雇用の創出							
農・商・工業 の活性化の 推進	1	地元農業活性化プロジェクト	新規就農者数(年間)	6人	7人	1人	C
			JAうつのみや上三川野菜集出荷所 による青果物販売数量	4,864t	4,900t	4,602t	
	2	まちの名物をつくらうプロジェクト	新商品開発数	—	3種類	2種類	B
			かみのかわブランド新商品開発数 (認定数)	1種類	5種類	14種類	
	3	地元企業交流プロジェクト	イベント開催数	—	3回	2回	B
4	商業経営の近代化	制度融資利用件数	18件	23件	14件	C	
雇用創出の 推進	5	商店街再生に向けた検討	町内の商店(大型店以外)で買い物を している町民の割合	40.0%	48.0%	—	C
			プレミアム商品券の換金率	—	100.0%	99.65%	
6	起業化等の支援	創業資金融資制度利用件数	1件	3件	0件	C	

## ■基本目標2 子育て世代や若者の定住の促進

成果目標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	実績値 (H30)	評価
<b>社会増減数</b> (住民基本台帳)	-140 人	-100 人	-5 人	A
<b>町外からの滞在人口(休日)</b> (地域経済分析システム From-to分析)	1.10 倍	1.30 倍	1.06 倍	D

※社会増減数は年度の数値(転入・転出・職権消除等)

### ●具体的な作戦毎の重要業績評価指標(KPI)進捗状況

基本目標 基本的方向	No.	作戦	KPI	基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値 (H30)	評価
基本目標2 子育て世代や若者の定住の促進							
定住支援の 推進	7	空き家対策事業	空き家の利活用件数	—	10件	1.06	C
	8	住宅・宅地の供給推進	町営住宅の改修率	28%	85%	78%	B
	9	定住のための住宅取得支援	新築住宅件数	209件	250件	159件	C
町の魅力アッ プの推進	10	上三川町住んでよいとこPR	全国移住ナビページへのアクセス数	—	1,000件/ 年	817件/年	C
			転出超過削減数	—	90人/年	131人/年	
			首都圏における上三川町の認知度	—	15%	17%	
			東京圏からの転入者数	H26・27 平均200人	400人/年	190人/年	
11	上三川町来てよいとこPR	サンフラワー祭り来場者数	17,000人	22,000人	20,000人	B	
		夕顔サマーフェスティバル来場者数	20,000人	22,000人	21,000人		
12	水環境のPR	上水道の接続率	87.0%	90.5%	89.5%	C	
		下水道の接続率	86.6%	91.8%	85.3%		

## 基本目標3

### 若い世代の結婚・出産・子育ての支援及び教育環境の充実

成果目標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	実績値 (H30)	評価
<b>婚姻届出数</b> 基準値: (H25栃木県保健統計年報)	142 件	160 件	128 件	D
<b>合計特殊出生率</b> 基準値: (H25栃木県保健統計年報)	1.42	1.45	1.45	A

#### ●具体的な作戦毎の重要業績評価指標(KPI)進捗状況

基本目標 基本的方向	No.	作戦	KPI	基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値 (H30)	評価
基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての支援及び教育環境の充実							
出会いから結婚・出産・子育て支援の推進	13	出会い応援プログラム	婚活イベント開催数	1回	3回	4回	D
			婚姻届出数	142件	160件	128件	
			合計特殊出生率	1.42	1.45	1.45	
	14	妊娠・出産応援プログラム	出生児数	248人	248人	229人	D
			15	多子世帯応援プログラム	第3子以降出生児数	39人	39人
	16	産後ママ応援プログラム	応援プログラム利用者数	—	20人	—	B
17			子育て支援の充実	待機児童数	0人	0人	0人
18	障がい児の療育支援	子育て支援センター利用者数	8,918人	10,000人	12,196人	A	
		1人あたり療育回数	1回/年	4回/年	8回/年		
学校教育の充実	19	特色ある教育活動の推進	タブレット型パソコン台数	0台	208台	76台	B
			町内学校図書館利用冊数	79,000冊	81,000冊	96,003冊	

## 基本目標4 誰もが健康で暮らしやすい環境づくり

成果目標	基準値 (H26)	目標値 (H31)	実績値 (H30)	評価
<b>まちの安心・安全に関する満足度</b> まちづくりアンケートにおける「消防・防災体制」、「治水対策」、「交通安全対策」、「防犯体制」の各満足度の加重平均値	0.70	1.00 以上	1.27	A
<b>障がい者福祉に対する町民満足度</b> まちづくりアンケートにおける加重平均値	0.64	1.00 以上	0.67	D

※実績値は現在回収中の「まちづくりアンケート」(5年に一度)8月8日時点の速報値となっております。

#### ●具体的な作戦毎の重要業績評価指標(KPI)進捗状況

基本目標 基本的方向	No.	作戦	KPI	基準値 (H26)	目標値 (R1)	実績値 (H30)	評価
基本目標4 誰もが健康で暮らしやすい環境づくり							
安心安全を地域で守る体制の充実	20	がんばれ消防団事業	消防団員数	250人	250人	250人	B
	21	自主防災組織の推進	自主防災組織数	—	40箇所	23箇所	D
	22	安心・安全！子どもを守るかみたんプロジェクト	交通安全対策の状況に関する町民の満足度	27.6%	50.0%	—	B
交通安全教室・交通講話開催回数			6回	24回	21回		
いきいき生活の推進	23	こんにちは、じいちゃん・ばあちゃん訪問事業	安否確認センサーや緊急通報装置の設置者数	7人	20人	18人	A
	24	生きがいがづくり推進事業	生きがいサロンの参加延べ人数	4,207人	11,000人	10,296人	A
	25	健康づくりの意識づけ支援事業	健康マイレージ参加者数	—	900人	560人	D
	26	運動のきっかけづくり支援事業	週1回以上の運動をしている町民の割合	30%	40%	—	B
スポーツレクリエーション祭の参加者数			2,100人	3,500人	1,500人		
障がい者支援の充実	27	障がい者雇用の充実	就労者の賃金(時給換算)	130円	最低賃金の3分の1(245円)以上	273円	B
			28	音声広報による情報提供	音声広報CD充足率	—	100%

# 総合戦略評価シート

No. 1

所管課

農政課

P (計画)	基本目標	基本目標 1 若い世代の就労や雇用の創出																					
	基本的方向	農・商・工業の活性化の推進																					
	作戦	地元農業活性化プロジェクト																					
D (実行)	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業次世代人材投資資金:対象者4人</li> <li>・就農相談件数:6件</li> </ul>																					
C (評価)	KPIの状況	項目	新規就農者数	単位	<table border="1"> <caption>新規就農者数 (人)</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画当初</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>6</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>7</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>-</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>	時期	目標	実績	計画当初	4	6	H28	5	2	H29	6	3	H30	7	1	R1	-	7
		時期	目標	実績																			
		計画当初	4	6																			
		H28	5	2																			
	H29	6	3																				
H30	7	1																					
R1	-	7																					
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)																					
6	7	1																					
項目	J A うつのみや上三川集出荷所の青果物販売数量	単位	t	<table border="1"> <caption>JA うつのみや上三川集出荷所の青果物販売数量 (t)</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画当初</td> <td>4,750</td> <td>4,864</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>4,800</td> <td>4,757</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>4,850</td> <td>5,020</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>4,900</td> <td>4,602</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>-</td> <td>4,602</td> </tr> </tbody> </table>	時期	目標	実績	計画当初	4,750	4,864	H28	4,800	4,757	H29	4,850	5,020	H30	4,900	4,602	R1	-	4,602	
時期	目標	実績																					
計画当初	4,750	4,864																					
H28	4,800	4,757																					
H29	4,850	5,020																					
H30	4,900	4,602																					
R1	-	4,602																					
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)																					
4,864	4,900	4,602																					
進捗状況	C : やや遅れているが、概ね順調に進捗している																						
分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の農業を取り巻く環境は厳しい状況にあり、就農を希望する青年等が少ない。</li> <li>・青果物の販売数量は、一部の生産者では規模拡大を進め生産を増加しているが、他方では生産者の高齢化により離農する農業者がいるため、全体的に販売数量が低下している。</li> </ul>																						
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業を魅力ある職業として認識し、新規就農者を確保育成するために、県やJAなど関係機関と連携して、農業に興味のある人へ情報提供を図り、新規就農に繋げる必要がある。</li> </ul>																						
A (改善)	実施予定、変更点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度は、移住定住促進事業に合わせ、県が首都圏で開催するとちぎ暮らしセミナーに出展し、本町での就農をPRする。</li> </ul>																					

# 総合戦略評価シート

No. 2

所管課

農政課・商工課

P (計画)	基本目標	基本目標 1 若い世代の就労や雇用の創出			
	基本的方向	農・商・工業の活性化の推進			
	作戦	町の名物をつくろうプロジェクト			
D (実行)	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物やブランド品のPR・販売の拠点施設となる農産物直売所を整備した。</li> <li>・上三川町特産物販路拡大事業:①(県内)宇都宮市内のホテルで町産野菜を使用した料理の提供②(県外)まるごとニッポンで本町農産物やブランド品の販売を実施し、本町のPRを実施した。</li> <li>・農産物加工組合が新商品を研究開発し、販売につなげた。</li> <li>・黒チャーハンスタンプラリーを開催した。</li> <li>・ブランドPR用ポスターや旗、ブランドロゴマークのシールを作成し、県内外のイベントや販売場所で掲示等を行い、PRを図った。</li> <li>・ラジオ放送(栃木放送)を活用し、かみのかわブランド品の周知を図った。</li> <li>・かみのかわブランド認定審査会において、14品目の認定を行った。</li> </ul>			
	対象事業	事業名	対象事業費(円)		
	地方創生交付金 対象事業費	農産物直売所建設事業	27,681,696		
		上三川町特産物販路拡大事業	5,789,765		
かみのかわブランド認定事業		1,359,892			
C (評価)	K P I の状況	項目	単位		
		新商品開発数	種類		
		計画策定時 現況値	目標値 (R1)		実績値 (H30)
		—	3		2
	地方創生交付金 対象事業K P I	項目	単位		
		かみのかわブランド新商品開発数(認定数)	種類		
		計画策定時 現況値	目標値 (R1)		実績値 (H30)
		1	5		14
	進捗状況	B: 目標達成に向けて順調に進捗している			
	分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外で本町農産物やブランド品の販売・PRを実施し、町のPRにつながった。</li> <li>・農産物加工組合が販売した新商品は、道の駅等で評判が良かった。</li> <li>・上三川町を代表する農産物や加工品のブランド認定が行えた。</li> <li>・県内外でPRを実施し、ブランド品の周知を図れた。</li> </ul>			
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かみのかわブランド品の登録件数も順調に増加しているため、県内外への、更なるPRを図る必要がある。</li> </ul>				
A (改善)	実施予定、変更点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに整備した農産直売所を拠点として、本町農産物やブランド品のPR・販売に取り組む。</li> <li>・令和元年度についても、8月から10月までの期間で、認定品の募集をしている。</li> <li>・かみのかわブランド品周知のため、県のアフターDCキャンペーンに合わせて、ブランドフェアを開催した。</li> </ul>			

# 総合戦略評価シート

No.

3

所管課

商工課

P (計画)	基本目標	基本目標 1 若い世代の就労や雇用の創出																					
	基本的方向	農・商・工業の活性化の推進																					
	作戦	地元企業交流プロジェクト																					
D (実行)	事業実績	町内企業間の異業種交流、新規事業や新しい技術の開発など、他社との事業連携の可能性を広げることを目的とし、11月に企業間交流会を実施した。																					
C (評価)	KPIの状況	項目	単位		<table border="1"> <caption>KPI Status Data</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>目標 (回)</th> <th>実績 (回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画当初</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	時期	目標 (回)	実績 (回)	計画当初	0	0	H28	0	0	H29	1	1	H30	2	2	R1	3	3
		時期	目標 (回)	実績 (回)																			
		計画当初	0	0																			
		H28	0	0																			
	H29	1	1																				
H30	2	2																					
R1	3	3																					
イベント開催数	回																						
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)																					
—	3	2																					
進捗状況	B：目標達成に向けて順調に進捗している																						
分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業間交流会を実施したところ、45企業(60人)の参加があり、普段交流の少ない異なる業種の交流ができた。</li> </ul>																						
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加企業数が少ないため、開催形態・方法などの見直しが必要である。</li> </ul>																						
A (改善)	実施予定、変更点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度は、よりマッチングできるよう見直し、11月に実施する予定。</li> <li>参加企業のPRがしやすい環境づくりに取り組む。</li> <li>広域化(下野市・壬生町との連携)に向けた検討を行っていく。</li> </ul>																					

# 総合戦略評価シート

No.

4

所管課

商工課

P (計画)	基本目標	基本目標 1 若い世代の就労や雇用の創出																				
	基本的方向	農・商・工業の活性化の推進																				
	作戦	商業経営の近代化																				
D (実行)	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内金融機関と連携した制度融資利用の推進 (設備近代化資金2件、経営改善資金12件、創業支援資金0件)</li> <li>・融資制度内容の改善検討 (保証料補助及び支払利子の補助について)</li> </ul>																				
	対象事業	事業名	対象事業費(円)																			
	地方創生交付金 対象事業	空き店舗利活用事業	918,000																			
C (評価)	KPIの状況	項目	単位	<table border="1"> <caption>KPIの状況 (制度融資利用件数)</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>目標 (目標)</th> <th>実績 (実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画当初</td> <td>20</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>20</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>21</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>22</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>23</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>	時期	目標 (目標)	実績 (実績)	計画当初	20	18	H28	20	22	H29	21	14	H30	22	14	R1	23	14
		時期	目標 (目標)		実績 (実績)																	
		計画当初	20		18																	
		H28	20		22																	
H29	21	14																				
H30	22	14																				
R1	23	14																				
制度融資利用件数	件																					
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)																				
18	23	14																				
進捗状況	C : やや遅れているが、概ね順調に進捗している																					
分析	利用件数が減っており、抜本的な制度内容の改善を実施しなければ融資額自体の増加は難しいと考える。																					
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度内容の更なる改善検討が必要にある。</li> <li>・H30に調査した空き店舗等の利活用のため、空き店舗を登録してもらう必要がある。</li> </ul>																					
A (改善)	実施予定、変更点 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30から保証料の全額補助及び支払利子の1/2補助の制度を実施したが、利用件数はほとんど変わらなかったため、企業が利用しやすいようHP等で周知を図る。</li> <li>・空き店舗の登録をしてもらえるよう、持ち主との話し合いを進める。</li> </ul>																				

# 総合戦略評価シート

No.

5

所管課

商工課

P (計画)	基本目標	基本目標 1 若い世代の就労や雇用の創出		
	基本的方向	農・商・工業の活性化の推進		
	作戦	商店街再生に向けた検討		
D (実行)	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレミアム付き商品券の発行 発行総額 20,700千円(うち、プレミアム分2,700千円、15%) 事業内容 11,500円を10,000円で1,800セット販売 商品が使える店舗 カード会37店、協賛店45店、合計82店</li> <li>・新聞、かみたんメール等を活用した飲食店や商店街イベントのPR</li> </ul>		
C (評価)	K P I の状況	項目	単位	
		町内の商店（大型店以外）で買い物をしている町民の割合	%	
	計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)	—
K P I の状況	項目	単位		
	プレミアム商品券の換金率	%		
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)	—	
進捗状況	C : やや遅れているが、概ね順調に進捗している			
分析	プレミアム商品券の換金率はH29の99.59%から0.06%増加し99.65%となっているため、町内商店での買い物への誘導に効果が出ている。			
課題	プレミアム商品券及び商店街による自主的なイベントによる効果を最大限に活かせるような周知方法を検討する。			
A (改善)	実施予定、変更点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年のプレミアム商品券とあわせて、今年度は消費税引き上げが家計に与える影響を緩和するため、子育て世帯と非課税者を対象に「かみたんプレミアム商品券」を発行する。商品券の利用者や店舗が混同しないよう、通常のプレミアム商品券との区別をしっかりと付ける必要があるが、町内の商店で買い物をする人が増えるように相乗効果を図る。</li> </ul>		

# 総合戦略評価シート

No.

6

所管課

商工課

P (計画)	基本目標	基本目標 1 若い世代の就労や雇用の創出																				
	基本的方向	雇用創出の推進																				
	作戦	起業化等の支援																				
D (実行)	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業支援事業計画の申請及び認定</li> <li>・上三川町創業支援ネットワーク連絡会による連携 (年2回開催(連絡会メンバー:町・商工会・金融機関・(公財)県産業振興センター)</li> <li>・かみのかわ創業セミナーの実施</li> </ul>																				
C (評価)	KPIの状況	項目	単位																			
		創業資金融資制度 利用件数	件																			
		計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)																		
		1	3	0																		
				<table border="1"> <caption>KPI Status Data</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>目標値 (R1)</th> <th>実績値 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画当初</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		時期	目標値 (R1)	実績値 (H30)	計画当初	1	1	H28	1	2	H29	1	0	H30	1	1	R1	3
時期	目標値 (R1)	実績値 (H30)																				
計画当初	1	1																				
H28	1	2																				
H29	1	0																				
H30	1	1																				
R1	3	0																				
進捗状況	C : やや遅れているが、概ね順調に進捗している																					
分析	<p>利用件数が減っており、抜本的な制度内容の改善を実施しなければ融資額自体の増加は難しいと考える。          創業セミナーの参加者があまり増えていない(H30実績 10人)が、H30受講者の内1人が今年度創業予定している。</p>																					
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上三川町創業支援ネットワーク連絡会の連携強化が必要になる。</li> <li>・創業セミナーの周知・PRを強化する必要がある。</li> </ul>																					
A (改善)	実施予定、変更点 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かみのかわ創業セミナーの開催について、下野新聞やSNSなどを通して広く周知し、参加者増を図る。</li> </ul>																				

# 総合戦略評価シート

No.

7

所管課

建築課

P (計画)	基本目標	基本目標2 子育て世代や若者の定住の促進			
	基本的方向	定住支援の推進			
	作戦	空き家対策事業			
D (実行)	事業実績	<p>特定空家等の認定のための立入調査実施を実施した(調査件数22件)。                  空き家等対策協議会を開催し、空き家対策に関しての検討や特定空家等の認定を行った。                  空家等の対策に必要な事項を定める「上三川町空家等対策計画」を策定した。                  栃木県宅地建物取引業協会と空き家バンクの協定を締結した。</p>			
C (評価)	KPIの状況	項目	単位		
		空き家の利活用件数	件		
		計画策定時 現況値	目標値 (R1)		実績値 (H30)
		—	10		0
進捗状況	C : やや遅れているが、概ね順調に進捗している				
分析	<p>町内における利活用できる空き家を有効活用するための空き家バンク設立の準備を行った。                  栃木県宅建協会と平成31年3月に空き家バンクの協定を締結し、平成31年4月から空き家バンクを開設した。</p>				
課題	<p>高齢者や子育て世代への住み替え支援及び移住定住の促進による地域の活性化のため、空き家バンクへの登録の促進をすすめる必要がある。</p>				
A (改善)	実施予定、変更点など	<p>空き家等対策協議会にて特定空家等への対策の検討をしていく。                  空き家所有者へ空き家バンクへの登録を促し、空き家の利活用を図る。</p>			

# 総合戦略評価シート

No.

8

所管課

建築課

P (計画)	基本目標	基本目標2 子育て世代や若者の定住の促進																				
	基本的方向	定住支援の推進																				
	作戦	住宅・宅地の供給推進																				
D (実行)	事業実績	町営住宅の入居者が安心して住み続けられるよう、長寿命化計画に基づき、計画的に実施計画、予算編成を確実に実行し、改修工事等を実施した。 平成29年度 下町第二町営住宅屋上防水改修工事(1号棟) 平成30年度 下町第一町営住宅外壁改修工事(S50年・51年築 20戸)																				
C (評価)	KPIの状況	項目	単位	<table border="1"> <caption>町営住宅の改修率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標 (%)</th> <th>実績 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画当初</td> <td>28.0</td> <td>28.0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>40.0</td> <td>38.4</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>55.0</td> <td>67.0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>70.0</td> <td>78.0</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>85.0</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標 (%)	実績 (%)	計画当初	28.0	28.0	H28	40.0	38.4	H29	55.0	67.0	H30	70.0	78.0	R1	85.0	-
		年度	目標 (%)		実績 (%)																	
		計画当初	28.0		28.0																	
		H28	40.0		38.4																	
H29	55.0	67.0																				
H30	70.0	78.0																				
R1	85.0	-																				
町営住宅の改修率	%																					
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)																				
28.0	85.0	78.0																				
進捗状況	B：目標達成に向けて順調に進捗している																					
分析	入居者が今後も長期にわたり安心して生活が出来るよう計画的に予防修繕がすすめられている。工事の際は入居者の生活に配慮し、安全にすすめることができた。																					
課題	町営住宅全体が老朽化しており、予定にない改修が必要になることが懸念される。																					
A (改善)	実施予定、変更点 など	今年度は予定している工事を行う。 下町第一町営住宅外壁改修工事 下町第二町営住宅屋上防水工事																				

# 総合戦略評価シート

No.

9

所管課

建築課

P (計画)	基本目標	基本目標2 子育て世代や若者の定住の促進																					
	基本的方向	定住支援の推進																					
	作戦	定住のための住宅取得支援																					
D (実行)	事業実績	<p>平成31年度の予算計上、「上三川町定住促進住宅取得支援金交付要綱」の整備を行った。</p> <p>【対象地区】新築:しらさぎ地区・石橋駅東地区、中古:町内全域</p> <p>【交付期間】新築・中古住宅の取得に係る固定資産税等が課税された初年度から3年間</p> <p>【総支援金】固定資産税等の3年分に相当する額(上限額:30万円/3年間)</p>																					
C (評価)	KPIの状況	項目	単位		<table border="1"> <caption>KPI Status Data</caption> <thead> <tr> <th>期</th> <th>目標 (件)</th> <th>実績 (件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画当初</td> <td>209</td> <td>209</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>220</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>230</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>240</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>250</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	期	目標 (件)	実績 (件)	計画当初	209	209	H28	220	150	H29	230	118	H30	240	159	R1	250	-
		期	目標 (件)	実績 (件)																			
		計画当初	209	209																			
		H28	220	150																			
H29	230	118																					
H30	240	159																					
R1	250	-																					
新築住宅件数	件																						
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)																					
209	250	159																					
進捗状況	C: やや遅れているが、概ね順調に進捗している																						
分析	<p>新築住宅が年々増加する兆しが見られない傾向にある。</p> <p>予算確保と要綱整備の関係で施行が平成31年度からとなり、事業開始に影響はなかったが、周知期間不足が懸念される。</p>																						
課題	定住化促進のための他の施策との調整を検討していく必要がある。																						
A (改善)	実施予定、変更点など	<p>平成31年度に補助を開始し、対象になり得る世帯に制度の案内文を通知し、申請受付をしている。また、税務課の家屋調査の際に制度の案内チラシを渡してもらい、制度の周知を図る。</p>																					

# 総合戦略評価シート

No. 10

所管課

企画課

P (計画)	基本目標	基本目標2 子育て世代や若者の定住の促進			
	基本的方向	町の魅力アップの推進			
	作戦	上三川町住んでよいところPR			
D (実行)	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>かみのかわPR事業 かみのかわブランドPR(栃木放送)、まるごとニッポンでマルシェ(東京浅草)、移住相談会開催(東京有楽町ほか)</li> <li>上三川町認知度調査事業 上三川町認知度等調査の実施</li> </ul>			
	対象事業 地方創生交付金 対象事業	事業名	対象事業費(円)		
		上三川町認知度調査事業	550,800		
C (評価)	K P I の状況	項目	単位		
		全国移住ナビページのアクセス数	件/年		
		計画策定時 現況値	目標値 (R1)		実績値 (H30)
		—	1,000		817
	地方創生交付金 対象事業K P I	項目	単位		
転出超過削減数		人/年			
計画策定時 現況値		目標値 (R1)	実績値 (H30)		
(H27) —		90	131		
地方創生交付金 対象事業K P I	項目	単位			
	首都圏における上三川町の認知度	%			
	計画策定時 現況値	目標値 (R1)		実績値 (H30)	
	(H27) —	15		17	
地方創生交付金 対象事業K P I	項目	単位			
	東京圏からの転入者数	人/年			
	計画策定時 現況値	目標値 (R1)		実績値 (H30)	
	(H26・27 平均) 200	400		190	
	進捗状況	C : やや遅れているが、概ね順調に進捗している			
	分析	・東京圏への一極集中は収まらず、特に20代～30代の女性の転出が著しい。			
	課題	・東京圏からの転入者増を図るため、認知度向上の取り組みを進めるとともに、町内から東京圏に転出する人を減らす対策が必要になる。			
A (改善)	実施予定、変更点など	・今年度に、女性からみた上三川町の魅力を取りまとめシティプロモーションガイドブックを作成する。作成したガイドブックは、東京圏での移住定住セミナーや上三川町の成人式などで広く配布する。			

# 総合戦略評価シート

No.

11

所管課

商工課

P (計画)	基本目標	基本目標2 子育て世代や若者の定住の促進																				
	基本的方向	町の魅力アップの推進																				
	作戦	上三川町来てよいところPR																				
D (実行)	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーペーパーを活用した開催PR(共通)</li> <li>・新聞記事を活用した開催PR(共通)</li> <li>・無料のイベント情報配信サイトを活用した開催PR(共通)</li> <li>・3町サミットによる共同事業として、フォトスポットを設置(サンフラワー祭り)</li> </ul>																				
C (評価)	KPIの状況	項目	単位	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画当初</td> <td>17,000</td> <td>17,000</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>17,000</td> <td>17,500</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>18,000</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>21,000</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>22,000</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	時期	目標	実績	計画当初	17,000	17,000	H28	17,000	17,500	H29	18,000	20,000	H30	21,000	20,000	R1	22,000	-
		時期	目標		実績																	
		計画当初	17,000		17,000																	
		H28	17,000		17,500																	
	H29	18,000	20,000																			
H30	21,000	20,000																				
R1	22,000	-																				
サンフラワー祭り 来場者数	人																					
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)																				
17,000	22,000	20,000																				
KPIの状況	項目	単位	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画当初</td> <td>20,000</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>20,000</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>20,500</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>21,000</td> <td>21,000</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>22,000</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	時期	目標	実績	計画当初	20,000	20,000	H28	20,000	20,000	H29	20,500	15,000	H30	21,000	21,000	R1	22,000	-	
	時期	目標		実績																		
	計画当初	20,000		20,000																		
	H28	20,000		20,000																		
H29	20,500	15,000																				
H30	21,000	21,000																				
R1	22,000	-																				
夕顔サマーフェスティバル 来場者数	人																					
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)																				
20,000	22,000	21,000																				
進捗状況	B：目標達成に向けて順調に進捗している																					
分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「多くの広告媒体」「多くの回数」による周知は、集客に関しては効果が大きいことが分かった。</li> </ul>																					
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かみたんメールや各種SNS(LINE、facebook、Instagram)などのあらゆる媒体を利用し広く周知する。</li> <li>・夕顔サマーフェスティバルの流し踊りの際に道を横切る人がいるため、対策が必要となる。</li> </ul>																					
A (改善)	実施予定、変更点 など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夕顔サマーフェスティバルの流し踊りのエリアを北と南で分けることで、横断する人の減少を図った。</li> <li>・サンフラワー祭りでは、3町サミットによる共同事業として、インスタグラムフォトコンテストを実施する。</li> </ul>																				

# 総合戦略評価シート

No.

12

所管課

上下水道課

P (計画)	基本目標	基本目標2 子育て世代や若者の定住の促進		
	基本的方向	町の魅力アップの推進		
	作戦	水環境のPR		
D (実行)	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸別訪問による加入促進を実施した(上水道:約50世帯、下水道:約140世帯)下水道では、加入率の低い農業集落排水区域において地元維持管理組合と協同により実施した。</li> <li>会議やイベント時にペットボトルの配布による上水道のPRを実施した(約3,300本)</li> <li>ホームページや広報紙への掲載による上下水道の加入促進を実施した</li> <li>新たな対策として、水道加入金の減免制度を策定した。(H31年度より実施)</li> </ul>		
C (評価)	KPIの状況	項目	単位	
		上水道の接続率	%	
		計画策定時 現況値	目標値 (R1)	
		87.00	90.50	89.50
	KPIの状況	項目	単位	
下水道の接続率		%		
計画策定時 現況値		目標値 (R1)	実績値 (H30)	
	86.60	91.80	85.30	
進捗状況	C : やや遅れているが、概ね順調に進捗している			
分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別訪問により上下水道の必要性等について再周知を図ることができた。</li> <li>ペットボトルの配布により、町の水道水のPRにつながった。</li> <li>新たな取り組みの検討により、H31年度から水道加入金の減免制度の実施に至った。</li> </ul>			
課題	戸別訪問により、生活環境の改善や安心安全性などの上下水道のメリットについては理解を得られるが、使用に要する費用面の負担や高齢世帯で跡継ぎがないことなどが使用をしない主要因となっていることから、思うようには加入件数の増につながらない。			
A (改善)	実施予定、変更点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き戸別訪問や広報紙等への掲載及びペットボトルの配布によりPRを実施する。</li> <li>H31年度から水道加入金の減免制度を実施し上水道の加入促進を図る。</li> <li>下水道の接続工事費の融資あっせんに対する限度額の見直しを検討する。</li> </ul>		

# 総合戦略評価シート

No.

13

所管課

企画課

P (計画)	基本目標	基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての支援及び学校教育の充実																				
	基本的方向	出会いから結婚・出産・子育て支援の推進																				
	作戦	出会い応援プログラム																				
D (実行)	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1市2町(下野市・上三川町・壬生町)連携婚活を3回実施</li> <li>新たな人の流れを創出するために、1市2町の観光地をバスで巡るツアーを実施</li> <li>平成30年度は東京圏の女性以外に県内・近隣県の女性にも対象を広げ実施し、参加者は女性60名、男性57名、カップリング成立総数22組(成立率39.3%)</li> <li>・商工会青年部主催 出会いのレシピ 1回</li> </ul>																				
	対象事業 地方創生 対象事業	事業名	対象事業費(円)																			
		新たなひとの流れを生み出す1市2町連携プロジェクト事業	1,550,666																			
C (評価)	KPIの状況	項目	単位	<table border="1"> <caption>KPIの状況 (結婚イベント開催数)</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画当初</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>3</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	時期	目標	実績	計画当初	-	1	H28	3	4	H29	3	4	H30	3	4	R1	3	-
		時期	目標		実績																	
		計画当初	-		1																	
		H28	3		4																	
	H29	3	4																			
H30	3	4																				
R1	3	-																				
結婚イベント開催数	回																					
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)																				
1	3	4																				
地方創生交付金 対象事業KPI	項目	単位	<table border="1"> <caption>地方創生交付金対象事業KPI (婚姻届出数)</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画当初</td> <td>-</td> <td>142</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>145</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>150</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>155</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>160</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	時期	目標	実績	計画当初	-	142	H28	145	127	H29	150	140	H30	155	128	R1	160	-	
時期	目標	実績																				
計画当初	-	142																				
H28	145	127																				
H29	150	140																				
H30	155	128																				
R1	160	-																				
婚姻届出数	件																					
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)																				
142 (H25)	160	128																				
進捗状況	D：遅れが生じており、このままでは目標達成が難しい																					
分析	1市2町連携婚活事業では、3回合計で57人の近隣市町または東京圏に住む女性に参加してもらい、22組のカップルが誕生した。(カップリング率39.3%)																					
課題	<p>婚活イベントによるカップリング率は3分の1を超えているが、追跡調査を承諾する参加者が少なく、承諾を得て調査してもほとんどのカップルが自然消滅していることが分かった。</p> <p>また、県の補助金(わがまち未来創造事業)が、H30で終了するため、今後のあり方について検討する必要がある。</p>																					
A (改善)	実施予定、変更点 など	<p>栃木県では、「とちぎ結婚支援センター」を開設し、新たな出会いの機会を提供しており、本町もセンター運営に対し負担金を出している。あわせて、とちぎ未来クラブでは、栃木県内の各種団体が実施しているイベントを取りまとめている。</p> <p>これらのことから、1市2町連携会議では連携婚活をH30年度で終了することとし、各市町で「とちぎ結婚支援センター」や「とちぎ未来クラブ」の情報を積極的にホームページ等で発信することとした。</p>																				

# 総合戦略評価シート

No.

14

所管課

子ども家庭課

P (計画)	基本目標	基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての支援及び学校教育の充実																					
	基本的方向	出会いから結婚・出産・子育て支援の推進																					
	作戦	妊娠・出産応援プログラム																					
D (実行)	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不妊治療費助成事業(のべ54組、実41組、4,964,700円)</li> <li>・妊産婦歯科健康診査(妊婦65人、産婦6人、409,457円)</li> </ul>																					
C (評価)	KPIの状況	項目	単位		<table border="1"> <caption>KPIの状況 (出生見数)</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画当初</td> <td>248</td> <td>248</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>248</td> <td>251</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>248</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>248</td> <td>229</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>248</td> <td>248</td> </tr> </tbody> </table>	時期	目標	実績	計画当初	248	248	H28	248	251	H29	248	240	H30	248	229	R1	248	248
		時期	目標	実績																			
		計画当初	248	248																			
		H28	248	251																			
	H29	248	240																				
H30	248	229																					
R1	248	248																					
出生見数	人																						
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)																					
248	248	229																					
進捗状況	D:遅れが生じており、このままでは目標達成が難しい																						
分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不妊治療費の助成を行った件数は、延べ54組であった。また、治療を実施した者を年代別に見ると、20歳代が2.4%、30歳代が65.9%、40歳代が31.7%であり、30歳代で治療を行う夫婦が多かった。</li> <li>・平成30年度中に妊産婦歯科健康診査の受診票を交付した人数は257名、受診した妊産婦は71名であった。過去3年間の受診票交付者数と受診者数を用いた受診率は、平成28年度が27.1%(74名/273名)、平成29年度が31.3%(86名/275名)、平成30年度が27.6%(71名/257名)であり、受診率はほぼ横ばいである。</li> </ul>																						
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを望むかどうかは夫婦の意思が尊重される。そのため、子どもを望む夫婦が子どもを授かることができるよう、さらに助成制度を周知することや不妊に関する知識を普及させることが必要になる。</li> <li>・妊産婦歯科健診受診者のうち、健診結果が「異常なし」となった妊産婦の割合は、26.8%(19名)であった。健診を受けた妊産婦の4人に3人は歯に何らかの問題があることから、治療に結びつけるため更なる受診勧奨が必要である。</li> </ul>																						
A (改善)	実施予定、変更点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ等を活用し、制度に係る情報発信を図る。</li> <li>・妊娠の届出など直接面談できる機会に、事業の周知を図る。</li> <li>・上三川町歯及び口腔の健康づくり推進条例制定により、保健、医療、福祉等の関連分野との連携を図る。</li> </ul>																					

# 総合戦略評価シート

No.

15

所管課

子ども家庭課

P (計画)	基本目標	基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての支援及び学校教育の充実																				
	基本的方向	出会いから結婚・出産・子育て支援の推進																				
	作戦	多子世帯応援プログラム																				
D (実行)	事業実績	<p>●第3子以降出産祝金事業                      第3子以降の子の出産に対し、赤ちゃん誕生祝金条例に基づき、祝金を支給。                      平成30年度の支給件数は、45件×200,000円=9,000,000円                      ※H30.4~H31.3支給分</p>																				
C (評価)	KPIの状況	項目	単位	<table border="1"> <caption>KPI Status Data</caption> <thead> <tr> <th>期</th> <th>目標値 (R1)</th> <th>実績値 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画当初</td> <td>39</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>39</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>39</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>39</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>39</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table>	期	目標値 (R1)	実績値 (H30)	計画当初	39	39	H28	39	38	H29	39	45	H30	39	38	R1	39	39
		期	目標値 (R1)		実績値 (H30)																	
		計画当初	39		39																	
		H28	39		38																	
	H29	39	45																			
H30	39	38																				
R1	39	39																				
第3子以降出生児数	人																					
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)																				
39	39	38																				
進捗状況	B：目標達成に向けて順調に進捗している																					
分析	<p>平成30年1月～12月の出生児数(健康課:母子健康手帳管理簿より集計)。                      出生児数全体が減少傾向にある中、第3子以降の出生数は一定数を保っている状況である。平成30年度については、第3子:32人、第4子:6人、第5子0人                      出生児数の減少とは反比例して支給件数が伸びていることから、本事業についての認知度は上昇しているといえる。                      祝金の額は、県内で実施している市町の中で一番高い。</p>																					
課題	<p>支給の目的が子育て世帯の経済的負担軽減であるが、本町の出生児数は減少傾向にある。                      経済的支援だけでなく、産前・産後の精神的ケアや保育所に預けたい人の希望をかなえることができるようにする必要がある。</p>																					
A (改善)	実施予定、変更点など	<p>引き続き、祝い金の支給を実施する。                      妊娠届出時、妊産婦医療費助成手続き等において直接面談できる機会に、第3子以降出産祝金事業の周知を図る。</p>																				

# 総合戦略評価シート

No.

16

所管課

子ども家庭課

P (計画)	基本目標	基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての支援及び学校教育の充実																				
	基本的方向	出会いから結婚・出産・子育て支援の推進																				
	作戦	産後ママ応援プログラム																				
D (実行)	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容の検討</li> <li>・産後ママ応援教室実施要領(案)の作成</li> </ul>																				
C (評価)	KPIの状況	項目	単位	<p>目標値達成まで後半上昇型</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画当初</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	時期	目標値	実績値	計画当初	0	0	H28	0	0	H29	0	0	H30	0	0	R1	20	20
		時期	目標値		実績値																	
		計画当初	0		0																	
		H28	0		0																	
H29	0	0																				
H30	0	0																				
R1	20	20																				
応援プログラム利用者数	人																					
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)																				
—	20	—																				
進捗状況	B：目標達成に向けて順調に進捗している																					
分析	<p>出産後の母親がリフレッシュして育児に臨むことができるよう、母親自身の健康管理を含めた運動支援を行うと共に、子育てに関する悩み等について相談支援を行い、参加者同士の仲間づくりを促すことで家庭や地域での孤立感を軽減し、安心して子育てに臨めるように整理した。</p>																					
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者のアンケート結果から事業内容を精査していく必要がある。</li> <li>・出生届出時、赤ちゃん訪問等で事業の周知を図る必要がある。</li> </ul>																					
A (改善)	実施予定、変更点など	<p>○新規事業：産後ママ応援教室実施(H31.4～)</p> <p>【主な事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産後の運動 ・参加者同士の交流・仲間づくり ・育児相談</li> <li>・児の体重身長測定 ・町の制度やサービスに関する情報提供 等</li> </ul> <p>○次年度以降の事業がより良いものになるよう、参加者からアンケートを回収し、効果や改善点等を確認する。</p>																				

# 総合戦略評価シート

No.

17

所管課

子ども家庭課

P (計画)	基本目標	基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての支援及び学校教育の充実				
	基本的方向	出会いから結婚・出産・子育て支援の推進				
	作戦	保育サービスの充実				
D (実行)	事業実績	特定教育・保育施設等に対し、施設型給付費及び地域型保育給付を支給し、運営費の一部を助成する。また、延長保育や一時預かりといった特別保育に対して助成を行う。保育施設を整備する事業者に対して補助金を交付し、保育の受け皿を計画的に確保する。(しらさぎ幼稚園の認定こども園化、及び乳児部の新設)				
C (評価)	KPIの状況	項目	単位			
		待機児童数	人			
	計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)	0	0	0
	0	0	0			
	KPIの状況	項目	単位			
子育て支援センター利用者数		人				
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)	8,918	10,000	12,196	
8,918	10,000	12,196				
進捗状況	C : やや遅れているが、概ね順調に進捗している					
分析	4月の時点では、待機児童数は0名であったが、年度後半に待機児童(0～1歳)が発生してしまう。 しらさぎ幼稚園の認定こども園への移行に伴い、2019年4月からの受入枠を拡充した(0歳:6名、1歳:12名、2歳:12名、合計30名の増加)。					
課題	今後の需要量の算出に際して、2019年10月からの幼児教育・保育無償化による影響(新たな需要)や、新たな住宅団地の形成や雇用の創出などに伴う人口推移などについて、関係部署との情報共有などの連携が必須である。					
A (改善)	実施予定、変更点など	令和元年度改築予定の上三川幼稚園において、新園開所(令和2年度)に際しては、0歳及び1歳児の定員枠を増やせるよう、当該法人と現在協議中である。(0歳:6名⇒15名、1歳:12名⇒15名)				

# 総合戦略評価シート

No. 18

所管課

健康福祉課

P (計画)	基本目標	基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての支援及び学校教育の充実																		
	基本的方向	出会いから結婚・出産・子育て支援の推進																		
	作戦	障がい児の療育支援																		
D (実行)	事業実績	障がい児通所支援事業(児童発達支援、放課後等デイサービス等) H30実利用人数:90人(H29:82人) H30延べ利用日数:6,196日(H29:4,398日) 【H30延べ利用人数: 797人(H29:515人)】																		
C (評価)	KPIの状況	項目	単位																	
		1人あたり療育回数	回/月																	
		計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)																
		1	4	5.7																
		<table border="1"> <caption>療育回数の推移</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画当初</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>6.9</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>4.5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>5.7</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>			時期	実績値	目標値	計画当初	1	4	H28	6.9	4	H29	4.5	4	H30	5.7	4	R1
時期	実績値	目標値																		
計画当初	1	4																		
H28	6.9	4																		
H29	4.5	4																		
H30	5.7	4																		
R1	4	4																		
進捗状況	A : 目標以上に進んでいる																			
分析	・県の指定を受ける障がい児通所支援事業者が増加したため、またその事業者と契約し、利用する障がい児が増えている。																			
課題	・H30年度実績は目標を達成しており、今後も発達に係る早い段階での療育の機会をより多く得ることは良いことではあるが、その障がい児について一番効果が高い頻度を見極めていく必要がある。																			
A (改善)	実施予定、変更点など	障がい児のサービスを提供する「こども発達支援センター」を町で整備しH30年4月に開所した。従来に比べ、身近な場所でサービスを受けられ、療育を受ける人数・日数も増加するものと予想される。																		

# 総合戦略評価シート

No.

19

所管課

教育総務課

P (計画)	基本目標	基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての支援及び学校教育の充実																				
	基本的方向	学校教育の充実																				
	作戦	特色ある教育活動の推進																				
D (実行)	事業実績	<p>①タブレット型端末整備事業について平成29年度は38台、平成30年度に38台を導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学校にタブレットを巡回させ、様々な授業で実践活用できた。</li> <li>（「総合的な学習」では、プレゼンテーションに活用、「社会」では、地域教材のまとめ学習で活用）</li> </ul> <p>②学校図書館の図書に児童生徒が活用する蔵書を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝読書で児童生徒が本に接する時間が増えた。</li> <li>授業で活用できる本や、生涯を通して読める本などを充実させた。</li> <li>一人当たりの貸出冊数を1冊/週 ⇒ 2~3冊/週（借りられる冊数を増やせた）</li> </ul>																				
C (評価)	K P I の状況	項目	単位	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画当初</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>38</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>76</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>208</td> <td>76</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標	実績	計画当初	0	0	H28	0	0	H29	38	38	H30	76	76	R1	208	76
		年度	目標		実績																	
	計画当初	0	0																			
	H28	0	0																			
	H29	38	38																			
H30	76	76																				
R1	208	76																				
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)																				
0	208	76																				
K P I の状況	項目	単位	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画当初</td> <td>79,000</td> <td>79,000</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>81,000</td> <td>80,974</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>81,000</td> <td>84,361</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>81,000</td> <td>96,003</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>81,000</td> <td>81,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標	実績	計画当初	79,000	79,000	H28	81,000	80,974	H29	81,000	84,361	H30	81,000	96,003	R1	81,000	81,000	
	年度	目標		実績																		
計画当初	79,000	79,000																				
H28	81,000	80,974																				
H29	81,000	84,361																				
H30	81,000	96,003																				
R1	81,000	81,000																				
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)																				
79,000	81,000	96,003																				
進捗状況	B：目標達成に向けて順調に進捗している																					
分析	<p>①タブレット型端末は、国の第三期教育振興基本計画に沿った整備を進めていきたい。</p> <p>②学校図書館の利用は授業で使う資料の増加により利用が増えている。継続的に現状と同様の利用が図れるように事業を進めていきたい。</p>																					
課題	新しい図書と古い図書の入替を、授業の進捗状況や児童生徒の興味に合わせ、どのように進めるか。																					
A (改善)	実施予定、変更点など	2020年から小学校における「プログラミング教育」を実施するにあたり、タブレット端末を活用した「プログラミング学習」も在り方についても研究を推進する。																				

# 総合戦略評価シート

No.

20

所管課

総務課

P (計画)	基本目標	基本目標 4 誰もが健康で暮らしやすい環境づくり																				
	基本的方向	安心安全を地域で守る体制の充実																				
	作戦	がんばれ消防団事業																				
D (実行)	事業実績	<p>○安全装備品の支給 防火帽、銀長靴等の装備品を充実させ、団員の安全確保を図った。</p> <p>○夏季点検・通常点検の実施 6月に夏季点検、11月に通常点検を実施し、服装点検や車両の点検を行った。上三川町消防団の統制、規律の確立にかかせない事業となっている。</p> <p>○消防操法大会の実施 ポンプ自動車の部、小型ポンプの部での消防操法大会を実施した。消防操法は火災現場で落ち着いて行動するための基本の動作であり、数ヶ月にわたる訓練により消防団の技能力向上に繋がっている。</p>																				
C (評価)	K P I の状況	項目	単位	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画当初</td> <td>250</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>250</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>250</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>250</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>250</td> <td>250</td> </tr> </tbody> </table>	時期	目標	実績	計画当初	250	250	H28	250	250	H29	250	250	H30	250	250	R1	250	250
		時期	目標		実績																	
		計画当初	250		250																	
		H28	250		250																	
H29	250	250																				
H30	250	250																				
R1	250	250																				
消防団員数	人																					
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)																				
250	250	250																				
進捗状況	B：目標達成に向けて順調に進捗している																					
分析	<p>消防活動時における団員の安全装備品の充実をし、災害現場における安全確保を図った。</p> <p>消防操法大会等を実施し、士気向上、消防技術の向上を図った。</p>																					
課題	<p>平成30年度退団者が平成31年度入団者を上回り欠員が生じている。</p> <p>装備品の充実以外にも、消防団の魅力アップを図るような新たな施策の立案が急務である。</p> <p>消防団サポート事業(応援の店・協力事業所表示制度)の周知にも注力する。</p>																					
A (改善)	実施予定、変更点など	<p>消防団員服制基準の改正並びに消防団員の被服貸与計画に基づき、消防団員活動服の更新を行い、団員の士気向上並びに安全確保を図る。</p>																				

# 総合戦略評価シート

No.

21

所管課

総務課

P (計画)	基本目標	基本目標4 誰もが健康で暮らしやすい環境づくり																				
	基本的方向	安心安全を地域で守る体制の充実																				
	作戦	自主防災組織の推進																				
D (実行)	事業実績	<p>○自主防災事業活動補助金 374,000円(7組織/11自治会)                      防災訓練(炊き出し訓練等)の実施や、資機材(防災倉庫等)の整備が実施された。                      ○自主防災組織設立事業交付金 100,000円(2自治会)                      上文挾自治会、本郷台第3自治会へ自主防災組織設立事業交付金を交付した。</p>																				
C (評価)	KPIの状況	項目	単位	<table border="1"> <caption>自主防災組織数推移</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画当初</td> <td>0</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>13</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>22</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>23</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>23</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	時期	実績値	目標値	計画当初	0	40	H28	13	40	H29	22	40	H30	23	40	R1	23	40
		時期	実績値		目標値																	
		計画当初	0		40																	
		H28	13		40																	
H29	22	40																				
H30	23	40																				
R1	23	40																				
自主防災組織数	箇所																					
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)																				
—	40	23																				
進捗状況	D:遅れが生じており、このままでは目標達成が難しい																					
分析	平成31年3月末時点で23自治会で設立となっている。 平成31年度に40自治会の設立を目標としていたが遅れが生じている。																					
課題	過去に大きな災害が発生したことが無い地域では、組織設立に対する理解が得られにくい。 また、市街地では個人情報の取扱・収集に困難が生じており、設立に至っていない。																					
A (改善)	実施予定、変更点など	平成31年度は、地区別の説明会の他に、8月に開催される自治会長連絡協議会の講演会時に自主防災組織設立の説明会を実施した。																				

# 総合戦略評価シート

No.

22

所管課

地域生活課

P (計画)	基本目標	基本目標4 誰もが健康で暮らしやすい環境づくり			
	基本的方向	安心安全を地域で守る体制の充実			
	作戦	安心・安全！子どもを守るかみたんプロジェクト			
D (実行)	事業実績	○道路危険箇所等の改善(カーブミラー及び啓発看板の設置等(67箇所)) ○交通安全運動の実施(年3回他に街頭広報7回(主に関係団体による啓発)) ○交通安全関係団体の活性化(4団体) ○交通安全教室、交通講話の開催(21回、高齢者メイン、約1,400名参加) ○高齢者運転免許証自主返納事業(3,000円相当の商品券(58名))			
C (評価)	KPIの状況	項目	単位		
		交通安全対策の状況に関する町民の満足度	%		
		計画策定時 現況値	目標値 (R1)		実績値 (H30)
		27.6	50.0		—
	KPIの状況	項目	単位		
交通安全教室・交通講話開催回数		回			
計画策定時 現況値		目標値 (R1)	実績値 (H30)		
6		24	21		
進捗状況	B：目標達成に向けて順調に進捗している				
分析	交通安全対策については、町民への継続的な啓発活動による交通安全意識の醸成が必要であり、あらゆる機会を通じた交通講話や交通安全教室を開催できた。 自治会や地域の要望に応じた高齢者対象の安全教室、学校や保護者に対する交通講話など地域や家庭から交通安全意識の高揚を図る目的で、幅広い年齢層に対する活動ができた。				
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化の進展に伴う高齢者の交通事故件数の増加</li> <li>・子どもをはじめとする歩行者の安全性の確保</li> <li>・交通事故発生抑制には安全意識を浸透させる継続的な啓発が必要</li> </ul>				
A (改善)	実施予定、変更点など	高齢者運転免許保持者の自主返納事業の報奨品等の見直しを行い、自主返納のしやすい環境を整えていく。			

# 総合戦略評価シート

No. 23

所管課

健康福祉課

P (計画)	基本目標	基本目標 4 誰もが健康で暮らしやすい環境づくり												
	基本的方向	いきいき生活の推進												
	作戦	こんにちは、じいちゃんばあちゃん訪問事業												
D (実行)	事業実績	<p>安否確認・緊急通報システム 新規人数 平成27年度 7人 平成28年度 11人 平成29年度 13人 平成30年度18人</p> <p>※事業内容:緊急事態に対応できる安否確認機能のついた緊急通報装置(本体、持ち歩き用ペンダント型発信機、センサー)を貸与。対象者は、独居高齢者、高齢者のみ世帯、身体障害者手帳1級又は2級の独居の身体障害者。</p>												
C (評価)	K P I の状況	項目	単位	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>計画策定時 現況値</th> <th>目標値 (R1)</th> <th>実績値 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安否確認センサーや緊急通報装置の新規設置者数</td> <td>人</td> <td>7</td> <td>20</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)	安否確認センサーや緊急通報装置の新規設置者数	人	7	20	18
		項目	単位		計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)							
		安否確認センサーや緊急通報装置の新規設置者数	人		7	20	18							
		安否確認センサーや緊急通報装置の新規設置者数	人											
	計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)											
7	20	18												
進捗状況	A : 目標以上に進んでいる													
分析	新規設置者は、独居・両老世帯の増加に伴い、年々増加傾向にある。													
課題	独居でも住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域の支えあいの仕組みづくりを推進していく必要がある。													
A (改善)	実施予定、変更点など	<p>事業の周知を図る。 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域の支えあいの仕組みづくり(地域住民による見守り、声かけ、困った時に相談しやすい地域の助け合い)を推進していく。</p>												

# 総合戦略評価シート

No. 24

所管課

健康福祉課

P (計画)	基本目標	基本目標 4 誰もが健康で暮らしやすい環境づくり			
	基本的方向	いきいき生活の推進			
	作戦	生きがいき推進事業			
D (実行)	事業実績	地域の居場所(生きがいサロン、ふれあいいいききサロン、ミニサロン、創年倶楽部等)推進 高齢者支援協議体(年間12回開催) かみしるべの発行(11,000部×2回)発行(全戸配付・関係機関等配布) 地域の担い手として、ボランティアの養成講座開催(居場所サポートボランティア・訪問ボランティア) ボランティアポイント(くろねえポイント)制度開始に伴う住民説明会			
C (評価)	K P I の状況	項目	単位		
		生きがいサロンの参加延べ人数	人		
		計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)	
		4,207	11,000	10,296	
進捗状況	A : 目標以上に進んでいる				
分析	自治会単位のミニサロンがひろがり、身近な地域での活動が増え、参加者の増加に繋がった。 地域包括ケアシステム推進として、地域の支えあいの仕組みづくりの取組みが、地域に少しずつ浸透し、地域の担い手活動＝自身の介護予防＝生きがいきにつながってきている。				
課題	ミニサロンが立ち上がった自治会はまだ一部であり、今後全自治会に普及を図るためには、さらなる地域の支えあいの仕組みづくりの推進、地域住民の意識の醸成、担い手の養成が課題。				
A (改善)	実施予定、変更点など	平成31年度からボランティアポイント制度の開始に伴い、住民説明会や担い手養成のための訪問ボランティア養成講座を開催した。			

# 総合戦略評価シート

No.

25

所管課

健康福祉課

P (計画)	基本目標	基本目標 4 誰もが健康で暮らしやすい環境づくり																					
	基本的方向	いきいき生活の推進																					
	作戦	健康づくりの意識づけ支援事業																					
D (実行)	事業実績	<p>健康マイレージ事業</p> <p>① 事業内容の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おやこ健康マイレージの対象者を幼稚園児から小学生まで拡大する。</li> <li>・更に3か月間健康づくりを継続した方を「健康マイレージの達人」として認定する。</li> </ul> <p>② 町民に対する周知(特に稼働世代を対象)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会を通じて稼働世代に配布し周知。</li> <li>・町内の大企業の労組にシートを配布し周知を図った。</li> </ul>																					
C (評価)	K P I の状況	項目	単位		<table border="1"> <caption>KPI Status Data</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>目標値 (R1)</th> <th>実績値 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画当初</td> <td>900</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>900</td> <td>449</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>900</td> <td>589</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>900</td> <td>560</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>900</td> <td>560</td> </tr> </tbody> </table>	時期	目標値 (R1)	実績値 (H30)	計画当初	900	0	H28	900	449	H29	900	589	H30	900	560	R1	900	560
		時期	目標値 (R1)	実績値 (H30)																			
		計画当初	900	0																			
		H28	900	449																			
H29	900	589																					
H30	900	560																					
R1	900	560																					
健康マイレージ参加者数	人																						
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)																					
—	900	560																					
進捗状況	D : 遅れが生じており、このままでは目標達成が難しい																						
分析	<p>参加者は昨年度に比べて微減している。</p> <p>おやこマイレージは昨年と比べ増加傾向にあるが、参加者総数を底上げするだけの数は確保できていない。参加者へのアンケート調査では90%以上が「今後も健康づくりを実践したい」と回答しており、健康づくりの意識付けが図れている。</p>																						
課題	<p>ターゲットの世代の行動変容を促すだけの周知・PRができていない。また、同じようにマイレージを達成した後の特典についても魅力の向上を図り、参加者を増やす必要がある。本事業は運動習慣のきっかけづくり、ひいては自立を目的とするものであるが、町民全体の健康を大局的にみると、きっかけづくりという役割だけでなく、継続することについても支援する必要もある。</p>																						
A (改善)	実施予定、変更点など	<p>年齢の下限を20歳としていたのを今年度から18歳と拡大し、若年層の参加者を増やす。</p> <p>今年度も再度、企業に周知を図るとともに、小中学校の保護者向けにパンフレットを作成し、30代～50代の保護者にPRをし、できるだけ参加を募りたい。</p> <p>今年度から、下野市や壬生町と連携して、それぞれの市町の健康・運動に関するイベントに参加した場合でもポイントとして計上できるよう、事業内容を見直した。</p>																					

# 総合戦略評価シート

No. 26

所管課

生涯学習課

P (計画)	基本目標	基本目標4 誰もが健康で暮らしやすい環境づくり												
	基本的方向	いきいき生活の推進												
	作戦	運動のきっかけづくり支援事業												
D (実行)	事業実績	<p>【町民スポーツレクリエーション祭事業】</p> <p>①事前申し込みをしなくても参加できるイベントとして、大声コンテストを企画し実施しようとしたが、前日までの台風の影響により実施することができなかった。</p> <p>②規模を縮小して実施したことにより、参加人数が大きく減少した。</p> <p>【体育施設等指定管理事業】</p> <p>①月例報告時の情報交換及び役場内の公園担当者との連携を充実させ、老朽化した施設の修繕等を早急に行い利用者の利便性をはかった。</p>												
C (評価)	KPIの状況	項目	単位	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>計画策定時 現況値</th> <th>目標値 (R1)</th> <th>実績値 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>週1回以上の運動をしている町民の割合</td> <td>%</td> <td>30.0</td> <td>40.0</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)	週1回以上の運動をしている町民の割合	%	30.0	40.0	—
		項目	単位		計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)							
		週1回以上の運動をしている町民の割合	%		30.0	40.0	—							
		週1回以上の運動をしている町民の割合	%											
	計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)											
	30.0	40.0	—											
	KPIの状況	項目	単位	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>計画策定時 現況値</th> <th>目標値 (R1)</th> <th>実績値 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツレクリエーション祭の参加者</td> <td>人</td> <td>2,100</td> <td>3,500</td> <td>1,500</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)	スポーツレクリエーション祭の参加者	人	2,100	3,500	1,500
		項目	単位		計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)							
		スポーツレクリエーション祭の参加者	人		2,100	3,500	1,500							
		スポーツレクリエーション祭の参加者	人											
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)												
2,100	3,500	1,500												
KPIの状況	項目	単位	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th>計画策定時 現況値</th> <th>目標値 (R1)</th> <th>実績値 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体育施設等指定管理事業施設の年間利用者数</td> <td>人</td> <td>112,986</td> <td>93,000</td> <td>113,089</td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)	体育施設等指定管理事業施設の年間利用者数	人	112,986	93,000	113,089	
	項目	単位		計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)								
	体育施設等指定管理事業施設の年間利用者数	人		112,986	93,000	113,089								
	体育施設等指定管理事業施設の年間利用者数	人												
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)												
112,986	93,000	113,089												
進捗状況	B：目標達成に向けて順調に進捗している													
分析	<p>・スポレク祭参加者数は、台風の影響で規模を縮小したこともあり、大きく減らす結果となったが、参加者の安全を確保することができた。体育施設の利用者は、体育センター耐震改修による1ヶ月間の休館により減少した。</p> <p>・参加者や利用者向けのアンケートなど意見を取り入れ修繕等を実施してきた。指定管理者から、スポーツ大会等のチーム内の人数が減ってきているとの情報があり、今後さらなる町民へのスポーツ活動の推進が求められる。</p>													
課題	<p>スポーツ施設の一つである体育センターの大規模改修工事が、約1年かけ実施される。この期間に町民のスポーツ離れが進まないようにする。</p>													
A (改善)	実施予定、変更点など	<p>・現在の体育センター利用者に代替施設の案内等を実施する。</p> <p>・スポーツ・レクリエーション祭などで、スポーツを通しての健康増進をPRする。</p> <p>・中高生からボランティアを募ることで、イベントへの協力と中高生への周知・PRを図る。</p>												

# 総合戦略評価シート

No. 27

所管課

健康福祉課

P (計画)	基本目標	基本目標 4 誰もが健康で暮らしやすい環境づくり																				
	基本的方向	障がい者支援の充実																				
	作戦	障がい者の雇用支援事業																				
D (実行)	事業実績	上三川ふれあいの家ひまわりにおける作業者の工賃が、前年度比31円増の273円となった。																				
C (評価)	KPIの状況	項目	単位	<table border="1"> <caption>KPIの状況 (賃金)</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>目標値 (R1)</th> <th>実績値 (H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画当初</td> <td>130</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>245</td> <td>264</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>245</td> <td>242</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>245</td> <td>273</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>245</td> <td>245</td> </tr> </tbody> </table>	時期	目標値 (R1)	実績値 (H30)	計画当初	130	130	H28	245	264	H29	245	242	H30	245	273	R1	245	245
		時期	目標値 (R1)		実績値 (H30)																	
		計画当初	130		130																	
		H28	245		264																	
H29	245	242																				
H30	245	273																				
R1	245	245																				
就労者の賃金 (時給換算)	円																					
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)																				
130	最低賃金の3分の1 (245円)以	273																				
進捗状況	B : 目標達成に向けて順調に進捗している																					
分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工賃がH26年度比で2倍超、また前年度比31円の増となっているものの、これは、H29年度工賃が低下したことにより、H30年度は一部積立金を充てたことが影響しているものと思われる。</li> </ul>																					
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の特別養護老人ホーム等でのパンの販売を開始したが、更なる販路拡大、他の商品の開発、販売の形態の工夫をする必要がある。</li> </ul>																					
A (改善)	実施予定、変更点など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パン販売店舗にイートインスペースを作り、売り上げを伸ばす(現在営業許可の事務手続き中)。</li> <li>・パン販売店舗によるシュシュまつりの開催、公民館祭りでの出店を始めたが、R1年度はサマーフェスティバルにも出店する予定である。今後も、様々なイベント等を開催又は出向き、売り上げ増を目指す。</li> <li>・農福連携を取り組むため、現在、設備投資を進めている。</li> </ul>																				

# 総合戦略評価シート

No. 28

所管課

健康福祉課

P (計画)	基本目標	基本目標 4 誰もが健康で暮らしやすい環境づくり																				
	基本的方向	障がい者支援の充実																				
	作戦	音声広報による情報提供																				
D (実行)	事業実績	<p>「広報かみのかわ」をDAISYにより録音、CDを作り、視覚障がい者等に配布した。また、視覚障がい者のサークルに訪問し、CD再生用機械の申請方法について説明を行い、取得を促進し、対象者の拡大を図った。</p>																				
C (評価)	KPIの状況	項目	単位	<table border="1"> <caption>音声広報CD充足率の推移</caption> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>実績 (%)</th> <th>目標 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画当初</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>66.7</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>87.5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>88</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	時期	実績 (%)	目標 (%)	計画当初	0	0	H28	0	0	H29	66.7	0	H30	87.5	0	R1	88	100
		時期	実績 (%)		目標 (%)																	
		計画当初	0		0																	
		H28	0		0																	
H29	66.7	0																				
H30	87.5	0																				
R1	88	100																				
音声広報CD充足率	%																					
計画策定時 現況値	目標値 (R1)	実績値 (H30)																				
—	100	88																				
進捗状況	D：遅れが生じており、このままでは目標達成が難しい																					
分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>作られたCDが、サークル会長の知り合い内での配布にとどまっている。視覚障がいを持つ方に町情報を拡散するための手法を検討する必要がある。</li> </ul>																					
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声広報CDを視覚障がいをもつ人に広く周知する方法及び利用の定着の工夫。</li> </ul>																					
A (改善)	実施予定、変更点など	<p>日常生活用具給付事業実施要綱を一部改正し、平成30年4月から視覚障がい者用ポータブルレコーダーの基準額を増額したところである。今後も機器とCDの広報・普及に努める。</p>																				